

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	日の出町における安全、安心なまちづくりの推進（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	日の出町												
計画の目標	首都圏直下地震などの大災害に備え、災害時の生活環境の保全をし、安全安心な住民生活の確保を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	48	A	40	B	0	C	8	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	16.66	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)
1	広域指定避難場所（4施設）へのマンホールトイレ整備を0%（H27）から100%（H30）に増加させる。 広域指定避難所へのマンホールトイレ整備済箇所数 / マンホールトイレ未整備箇所数	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	日の出町	直接	日の出町	管渠(汚水)	新設	下水道総合地震対策事業	計画	日の出町						2	策定済	
		下水道総合地震対策計画																	
	A07-002	下水道	一般	日の出町	直接	日の出町	管渠(汚水)	新設	下水道マンホールトイレ整備事業	設計、工事	日の出町						38	策定済	
		下水道総合地震対策計画																	
												小計					40		
											合計					40			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
第三者（町監査委員、日の出町自治会長連合会長）に依頼し事後評価を行う。	令和2年度
	公表の方法
	町ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	マンホールトイレ設備は町内になかったが、本事業で指定避難所4施設37基設置し、計画目標の100%となり、災害発生時に使用可能となった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	日の出町下水道総合地震対策計画に基づき重要な幹線を調査し、耐震性を有していることが判明し、管渠等の耐震化事業として工事施工する箇所は、無い結果となった。 マンホールトイレについては安心を担保するものであり、非常に有効であると考え（両委員からの評価）。
特記事項（今後の方針等）	
平成29、30年度に開催した日の出町総合防災訓練において、マンホールトイレを設置・展示し、訓練に参加した地域住民へ周知を図った。令和元年度は、台風19号により町内で被災地域があり、令和2年度はコロナ感染予防のため、訓練実施していない。今後、引き続き日の出町総合防災訓練等において、マンホールトイレを設置・展示して減災対応の周知を図る。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	100%